

## 「脇本小学校の脇本学（総合的な学習の時間）の取組」

### 1 学校名

阿久根市立脇本小学校

### 2 学年・人数

6年 31人，5年 35人，3年 27人

### 3 日時・場所

#### (1) 学習会等の日時・場所

- ・ 総合的な学習の時間に、松木弘安（寺島宗則）について学習する。
- ・ 「創立百周年記念誌 脇小百年」の資料やインターネット等の情報をもとに調べたことをパンフレットにまとめて相互に発表する。寺島宗則記念館に作成したパンフレットを持参し、館内に掲示するとともに見学者に配布してもらう。
- ・ 総合的な学習の時間や社会の授業で寺島宗則記念館を見学する活動を行う。

#### (2) 発表の日時・場所

- ・ 授業で児童相互に発表し紹介し合う。
- ・ 学習したことをパンフレットにまとめ、寺島宗則記念館に掲示・配布をする。

### 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

#### (1) 名称・時代

まつきこうあん てらしまむねのり  
松木弘安（寺島宗則）旧家（築180年）・江戸後期

#### (2) 特徴

幕末、英国に密航した薩摩スチューデント一行19名のうちの一人。留学生ではなく一行を引率するリーダーとしての参加であった。松木弘安（のちの寺島宗則）は、幼少時から長崎で西洋文化を学び、島津斉彬の右腕として幕末から明治に初めに大活躍した人物である。日本の近代化に尽くした電信の父と呼ばれ、日本の地位を向上させた外交リーダーとして活躍した。

薩摩スチューデント一行19人のうち実際に過ごした旧家が現存しているのは、松木弘安だけである。31年度、築180年を超え老朽化した旧家は修復工事が行われ、令和2年4月から開館している。

### 5 保存会や地域との連携の具体

脇本まち歩き探訪で6年生の児童がNPO法人まちづくりフォーラム・かごしま探検の会代表の東川隆太郎さんとオフィスいろは代表の下豊留佳奈さんと、寺島宗則記念館を見学し説明を受けた。また、「寺島会」の方には旧家を保存していく意義と目の前にある寺島の説明を受けた。

今後は寺島宗則に関する学習をさらに深化させるとともに、中馬大蔵らの郷土の偉人を学習対象として掘り起こし、学習時間と学習内容を広げる工夫をする。

## 6 活用の取組の工夫した点

- (1) 平成30年度から、総合的な学習の時間の活動計画に、「ふるさとに学ぼう！ 脇本学」（全14時間）を計画し、活動時間を確保した。
- (2) 夏季休業中の職員研修時のフィールドワークで寺島宗則記念館を見学し教材研究につながる活動を仕組み、工夫をした。
- (3) 6年生の校外学習で校区内のまち歩き探訪を行い、寺島宗則記念館を訪問し見学・説明を受けた。

## 7 取組の様子（研究発表、創作劇等）



## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### (1) 児童

- ・ 総合的な学習で脇本の偉人、寺島宗則について調べました。みんなで作成したパンフレットを寺島宗則記念館に持って行って展示してもらいました。印刷したものは記念館に来た人に配ってもらえるそうです。わたしたちが作ったパンフレットが観光客の方々に配られるのは、とてもうれしいことだと思いました。
- ・ 寺島宗則記念館の見学や調べ学習を通して脇本小学校の先輩に日本の歴史に名を残すようなすごい人がいることを知りました。阿久根市内にも寺島宗則記念館のポスターを見かけることが多くなりました。先輩である寺島宗則が注目されているのかなと思ってうれしくなります。これからも、脇本や阿久根市の歴史などを調べて、脇本のことを知り、脇本小以外の人にも教えてあげたいと思います。
- ・ 教室にあった「阿久根カルタ」で寺島宗則のことを知りました。卒業した先輩たちがいろいろ調べて作ったと聞きました。わたしも、脇本や阿久根のことを調べてみたいと思います。

### (2) 教職員

夏季休業中の職員研修で、寺島宗則記念館を見学しました。180年を超え老朽化が進んでいた旧家は31年度修復工事が行われて、当時の様子が見える建築物に生まれ変わり、建物周辺の整備も進んでいました。寺島会の方に説明をしていただき、DVDの視聴をしました。児童と見学に行くなど、社会科や総合的な学習の時間で活用を図りたいと思います。

